◆定期購読料改定のお知らせ◆

◆かねてからご案内致しておりますように,2007年1月号から下記のように定期購読料が長期の場合，割安になります．また定期購読者の特典は変わりません．

定期購読料

6ヵ月　7,800円（1冊1,300円）
1年　13,800円（1冊1,150円）
2年　24,000円（1冊1,000円）

＊上記はいずれも消費税，送料込みの価格です

定期購読者の特典
＊サービス部御利用時の消費税5％不要
＊10,000円以上お買いあげ時の送料は不要

＊お申し込みは綴じ込みの郵便振替用紙を御利用ください

編集後記

★どこやらのホテルでメニューの偽装表示がばれ，社長が出てきて「お客を騙す意図はなかったし，利益を上げるつもりはなかった」などと浅ましい言訳をやった挙句，結局はゴメンナサイと謝ったと思ったら，そのあと出るは出るは，結局日本中の有名どころのホテルやら百貨店やら料理店やらでの偽装表示がばれ，開いた口が塞がらない始末．日本食が世界遺産に認定されたのはうれしいことですが，その本家にこんな事態が起きたのは何とも恥ずかしい次第．“オ・モ・テ・ナ・シ”が泣こうというものです．余談ですが，そのオモテナシで決まった東京オリンピックも，一時期は意気揚々としていた硬派（？）知事が辞職に至っただらしなさを見ては，選手たちも意気阻喪しようというものでしょう．

どうも日本人はブランド指向が強すぎるのではないでしょうか．偽装表示は論外として，「ウマイ，マズイ」は自分で決めればよいこと，自分の舌を信じていれば，表示など気にすることはないはずです．

オーディオでも同じこと．ブランドや価格に惑わされていては，いつまでたっても自分のよい音は見つからないでしょう．ブランド製品のよさは認めたにしても，そのなかからエッセンスを取り出す力を備えてこそ，“自前のオーディオ”を手にすることができるというものです．そのお手伝いになるヒントが“1万円オーディオ”の中にはたくさん詰まっていると思います．おおいに活用してください．（H）

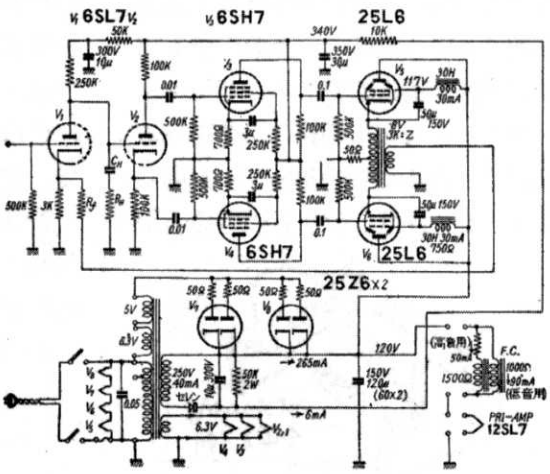
★表紙の大冒険その2！昔取った何とかというわけではありませんが，マンガ雑誌の編集していた頃を思い出しながらアメコミ（BATMANとかね）のコマ割り風にしてみましたがいかがでしょうか．今月の製作記事や取材で使った物を並べただけですが，なんとも賑やかに華やかになったと思いませんか？今月はこんなに製作記事が並んでいるのだなぁと一目でわかりますからそれだけでもワクワクしますよねぇ．この手はいろいろバリエーションを作りやすいのでまたやるかもしれません．半年後あたりに．実はこれになるまでに随分いろいろ検討しました．効果バックや擬音を入れたらどうか，写真もイラスト化したらどうか，カラーとモノクロを混在させたらどうかなど．しかし人物の写真やイラストがない場合はちょっとやりにくい感じですね．

話は変わってちっちゃい物好きの日本人にスポッとハマったヘッドフォン関連の展示会はどこも大盛況．徐々にハイレゾ音源も出回るようになって来てますます盛り上がりそうですね．ホントは店舗で試聴して，メモリ挿してダウンロード購入みたいなことができればいいのにね．いちいちネット経由でダウンロードが必要というのも面倒です．かつてローソンが店頭端末でゲームソフトの書き換え販売をやっていたのだから，できちゃいそうな無理なような．さて，この春もヘッドフォン関連イベントがいくつかあるようなのでまたまたお邪魔したいと思います。（tz）

★2013年も慌ただしく終わろうとしている．バチバチ撮った写真も印象に残っているのが1枚もない年だった．誰が撮っても同じように綺麗に写る道具にはだんだん興味が薄れて行く．オーディオもしかり．iPhone5に入れたFLACプレーヤで横着を決め込んでいる始末．（X）

◆前号訂正◆

p.15「MOSFETプッシュプル・アンプ」の記事中〈第1図〉は下記の回路と差し替えます．お詫びして訂正いたします．



ラジオ技術　2月号
第68巻・第2号・通巻883号
平成26年1月11日発売
©本誌より無断転載を禁ず
定価1,500円
（本体1,429円）送料120円

発行・編集人　河口治彦
発行　㈱アイエー出版
〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨3-9-2
プリメーラ西巣鴨102
（電話）03（5944）5188
（FAX）03（5944）5299
発売　㈱インプレスコミュニケーションズ
〒102-0075 東京都千代田区三番町20
（電話）03（5275）2442

直接ご購読のしおり

ご近所に書店のないばあい，またはバックナンバー（旧号）を希望されるばあいは，本社直接に“郵便カワセ”でご注文ください．

年間購読料　上欄参照
（振替）東京 00100-6-750412番